



園舎取り壊し、本格工事の開始

今年も本格的な梅雨の始まりとともに、園舎の仮囲いが行われ、いよいよ46年間、園児を見守り園児とともに歩んできた園舎の取り壊しが始まりました。僅か4年しか過ごしていない私ですが、園長室はもちろん、教室やテラスにいろいろな思い出が詰まっています。スレート葺きの屋根が、一枚一枚剥ぎ取られ、教室の壁に穴がかけられると、何とも言えない気持ちになります。特に、園庭に鎮座し、どの桜よりもいち早く咲き始め、園のシンボリック的存在であった山桜の木が、トラックの出入りに支障を来すということで、やむなく伐り倒されました。広い園庭が目の前に広がりましたが、跡形もないとなれば、一抹の寂しさを感じます。

そして、雨の度に幾つもタライを用意した場所、紙飛行機を取りに登った屋根、雨で滑り落ちたテラスなどが昨日のここのように蘇り、一人可笑しくなってニヤリとしています。況や、永年、お子様をこの幼稚園に通わせてくださいました保護者の皆様にとりましては、感慨深いものがあることでしょう。今年度は、建築工事の様子を傍らで見ながら、新園舎完成を楽しみにしていきたいと思います。

下の図は完成予想図です。1階は、今までの玄関部分にバス昇降口、事務室・職員室、図書コーナー、保健室や年少・年中・年長の各3教室が続きます。バス昇降口の屋根が、今のグリーンのネットの所までくるために、桜の木が4本、伐採されることになりました。2階は、2歳児たんぽぽクラスと屋上園庭、多目的室(保護者会室)、遊戯室、園長室、相談室ができます。完成図建物右側の空白部分が屋上園庭です。

仮設園舎玄関にも同じ完成予想図を掲示していますので、そちらでもご覧になってください。



園舎建築に関わる年度末行事の変更

新園舎の完成予定が2月末日となり、安全基準に基づいた申請通りの建物になっているかの諸検査が3月上旬に実施されることから、幼稚園への引き渡し(竣工)は、3月15日となりました。万一、諸検査でやり直しが指摘されると、引き渡しが伸びますので、予定より早くはなっても、遅れることがないように建設会社をお願いしているところです。

現年長さんには、どんなことがあっても新園舎で卒園式を迎えさせたいというのが、教職員一同の強い思いですから、年度当初計画していました年度末の行事を一部変更せざるを得なくなりましたので、お知らせします。

○修園式 3月15日(金) → 3月19日(火)へ
○卒園児のみ登園 3月20日(水)

○卒園式 3月14日(木) → 3月21日(木)へ

この日は、春分の日ですが、多くの保護者の方の参列が可能になると考え、卒園式を計画しました。年長さんにとっては、新園舎での卒園式の練習期間が、例年と比べて短くなりますが、仮設園舎で練習を積み上げれば、立派な卒園式ができると信じています。新園舎遊戯室の利用の一番手は、年長さんの卒園式が、最高だと思いませんか。

因みに、平成31年度の

始園式は、4月11日(木)

入園式は、4月15日(月)の予定です。

旧園舎の園庭の一部が使用可

建設事務所が、樹木の関係で旧園庭内ではなく車庫の横に設置されたことで、建設会社をお願いして12月末まで旧園舎の一部を使用できるようにしていただきました。そこで、仕切りのグリーンネット4枚を取り外し、登り棒と雲梯が使えるようになりましたが、子どもたちが大好きだった

「ぐりとぐら」の複合遊具は、新園舎の構造に係るために撤去されました。プールも旧園庭と仮設園庭との境目近くに設置でき、窮屈だった子どもの遊びにも若干の余裕が出てきました。子どもたちは、梅雨の合間の晴れた日に竹馬や三輪車、ボール遊びなどを楽しみ、年長・年中さんは、稲や芋の栽培に夢中です。教職員手作りの砂場も、いつも、子どもたちで溢れています。